



コミコミスク

明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail: gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 139

2021

12.14

あかねカレッジライトコース

望海コミュニティセンター
あかねカレッジライトコース
「コミュニティ・スクールって何？」



12月8日(水)に望海コミュニティセンターで開催された“あかねカレッジライトコース”で、「コミュニティ・スクールって何？」をテーマにコミュニティ・スクールについてお話を

させていただく機会を設けていただきました。これまで、コミュニティ・スクールについてのお話は教職員や学校運営協議会の委員さん向けというのが多かったのですが、今回は自分の興味で学ばれている方を対象にした話ということで、すごくいい経験をさせていただきました。またコミュニティ・スクールの役割でもある、地域での持続可能な生涯学習の仕組みを創るといった面からもいい勉強

をさせていただきました。受講者が自分で選んでこの講座を受講される方たちなので、やっぱり学ぼうとされるオーラはビンビンと伝わってきました。普段以上に念入りにプレゼンの原稿等の準備をしていたのですが、会場に入って受講者の皆さんのお顔をみた瞬間に、“これまでの感覚で用意したプレゼン原稿ではダメ”と天の声が聞こえ、皆さんのお顔をみながら内容を組立直しながら話をするといったこれまでにない経験をさせていただきました。受講者の皆さんには、未来の社会を創っていくために、昭和・平成と私たちの頭の中にある、勉強や学校のあり方が変わっていくということを社会総がかりで理解し、社会総がかりで、人生100年時代を充実して生きるために、学びを更新していける仕組みを創っていくことが求められ、そうした仕組みがコミュニティ・スクールなんだと伝えさせていただきました。会が終わってから、男性の方が“まちづくりとかかかわっているんやね”と話しかけられましたが、その言葉は大変うれしかったです。これからもこうしたコミュニティ・スクールのお話をさせていただける場があればどんどん出かけていきたいと考えています。今回こうした場を企画されたエリアマネージャーさんありがとうございました。

あかねカレッジライトコースって？

では、そもそもあかねカレッジライトコースって何なんですか。松が丘小でも、あかねが丘

学園の景観コースのOBの皆さんに「いきものみまもり隊」として今でも中庭の環境整備でお世話になっているなど、“あかねが丘”という言葉はよく耳にしておりましたが、実際のところよくわからないというのが正直なところ。コミュニティ・スクールに関わるなかで、生涯学習の場としてあかねが丘の役割を少しずつ知る中で、生涯学習の視点からあかねが丘での学びと子どもたちの学びが繋がっていけばいいなと勝手に妄想したりしています。学校が休みでも自分の関心のある学びを見つけることができたり、自分の関心ある学びを続けたり、広げたりすることができるのではと思っています。それが、学びを止めな

ということではと考えています。それではあかねカレッジライトコースとは？

“まなぶ つながる ひろがる”

60歳以上の明石市民であればどなたでも入学することができる、新しい学びの場。各中学校コミュニティセンターで開講される年間300以上の対象講座から好きなものを自由に選択して学ぶことができます。今までにない特徴のある講座を多数用意し、あなたの「学びたい」を応援します。<https://akane-college.jp/about/>（あかねカレッジ HP）

60歳以上と明石市民ということで、子どもたちの受講者としての参加は難しそうですが、子どもたちが講師として講座を開くのも面白いのかなと思ったりします。そういった意味で今年の松が丘小6年生が進めている地域交流型の松が丘プロジェクトはモデルになるのではと思ったりします。そんなことを可能にするのがカリキュラムマネジメントであり、「地域に開かれた教育課程」の目指すところなのではと思います。そうしたこれからの学びのあり方をデザインする仕組がコミュニティ・スクールなんだと考えています。

ネットニュースで見つけた静岡型小中一貫教育

校区ユニット？

12月9日にスマートニュースで静岡新聞の“小中一貫教育「静岡型」始動”の言葉が目飛び込んできました。

静岡市内の市立小中学校（小学校83校、中学43校）で来春から、静岡型小中一貫教育が一斉にスタートする。中学校区単位を一つのグループとし、構成する小中学校間で教育目標を共有して9年間の系統性と地域連携を重視する。各グループ校はそれぞれを「縦のつながり」「横のつながり」とし、6年をかけて準備を進めてきた。・・・・・・・・・・
(あなたの静岡新聞より抜粋 <https://www.at-s.com/news/article/shizuoka/996527.html>)

「たくましく しなやかな子どもたち」の育成を目指して

1 「静岡型小中一貫教育」は何のためにするの？

- ① 本邦教育の質をさらに高める
- ② 子どもたちの社会参画意識をさらに高める
- ③ 小中学校の教職員の経験と指導力をさらに高める
- ④ 学校と地域社会の信頼関係をさらに強める

2 「静岡型小中一貫教育」はどのように進めるの？

学校

- ① 目指す子どもの姿をグループ校で同じにする
- ② 各年度の教育目標をグループ校で共有する
- ③ 小中学校の教職員の経験と指導力が相互に高められる

地域

- ① 学校と地域の結びつきをより強くなる
- ② グループ校の小中一貫教育を推進する組織を創設する

教育委員会

- ① 学校と地域のつなぐことを支援する
- ② 静岡型小中一貫教育の成果や課題を検証する

3 「静岡型小中一貫教育」でどのような力を育てるの？

未来を担うための「資力・能力」を育成します

「つながる力」
(Social Bond) = 社会的絆の醸成

生きて働く「**知識・技能**」の習得

未知の状況にも対応できる「**思考力・判断力・表現力**」等の育成

学びを人生や社会に生かそうとする「**学びに向かう力・人間性**」等の涵養

よこのつながり(学校と地域)

小学校と中学校の「つながり」、学校と地域の「つながり」を大切にして、子どもたちの9年間の学びと育ちをつなぐ

「静岡型小中一貫教育」

教育活動は、どう変わるの？

グループ校で「めざす子どもの姿」が同じになります

各グループ校で、めざす子どもの姿を共有し、9年間を貫いたつながりのある教育(グループ校ならではの「カリキュラム」)を行います。

学校・保護者・地域の「つながり」で「地域ならではの学校づくり」をさらに進めます

小学校と中学校の先生が同じ取り組みをします

- ① グループ校の先生の協働(研修)
- ② 9年間を通して、一人ひとりの子どもと向きあふことが可能になる
- ③ 地域の魅力や家庭学習のやり方を小中学校と中学校の先生が一層に考えます

変わらなないこともあるの？

今までもおり、変わらなないこともあります

- ① 小学校と中学校の施設(校舎等)はそのままです。小中一貫教育をスタートします。
- ② 私立小学校・中学校への進学については、これまでと変わりません。
- ③ 自治会の組織やPTAの組織が変わることは想定していません。
- ④ 入学式や卒業式は、これまでどおり行います。

地域社会や世界で活躍する「グローバル人材」を育成します！

「実習力の向上」

働く力を育むため、自分と異なる文化をもつ国の方々と、つながりながら育ちます

- ① 小学5・6年生で教科としての英語が始まります。(平成30年度～)
- ② 小学3・4年生の外国語活動(英語活動)が始まります。(平成30年度～)

すべてのグループ校で取り組みます

「しずおか大学」

地域や夢に関心を持ち、社会や世界に広く目を向けることができる子どもを育てます

- ① 主に「総合的な学習の時間」を通して学習を進めます。
- 【内容例】 静岡市の歴史や文化(原/人物/史跡等)、お茶、しずまふ、オアシス、海浜防災
- ② 「しずおか大学-B-ok」を活用して学習します。
- 【内容例】 乳農、公共マナー、防災愛、忍/イリ、国際理解 等

静岡市教育委員会 HP より

記事や静岡市のホームページを読んでいると明石の校区ユニットと考え方と目指す方向性は同じだと感じました。7月のユニット担当者会で校区の「グランドデザインを」とお願いしているところですが、校区のグランドデザインを考えていくと静岡市が大切にされている「たてのつながり」(小と中)と「よこのつながり」(学校と地域)としてコミュニティ・スクールの仕組が重なってくると思います。(文責：北本)